

タイ 6 期松生敏子（まついけとしこ）
国際交流基金 “日本語パートナーズ”

第 2 回派遣報告

2018 年 7 月

日本の高校生の制服を、紹介する授業をしました。1 年中、夏のタイでは、何時も半袖です。日本には、夏服と冬服があり、長袖もあると説明しました。クラス全員で着てみました。

日本の祭り紹介では、川越祭り・秩父の夜祭りを紹介しました。

6 月下旬に、ワンワイクルーと言って、先生に合掌（ワイ）をして日ごろの感謝をする日がありました。何日も前から、台にのせた尊敬を意味する「花飾り」をクラスごとに準備し、担任の先生に送ります。

タイの伝統楽器の演奏で、式が始まります。妻夫木聡さんが出演された映画「風の前奏曲」に出てくる、タイの木琴ラナートを演奏したのは、日本語選択の生徒です。円形に配置された銅鑼コーンウエンが右端です。私も、式が終了してから、楽器を持たせてもらいました。



校内にある托鉢する僧の絵です。朝早くから町を裸足で歩く僧、その僧に靴を脱ぎ道路にひざまずいて、タンブン(布施)する市民の姿が見られます。上部座仏教では、徳を積む一つにタンブンがあります。戒律の厳しい仏教で、僧は女性に触れてはいけません。アパートから 20 分かけて歩いて通勤しています。通勤途中に会う僧には、女性はぶつかってもいけないので、端に避けます。